

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2018年6月23日～2018年6月29日の推移】

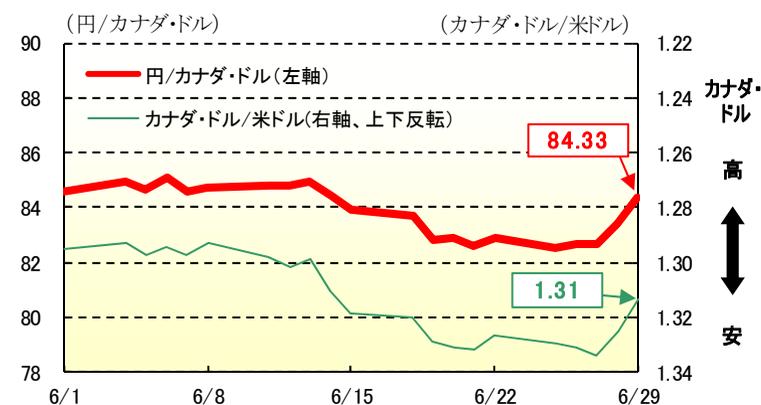
### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円、カナダ5年国債利回りはともに上昇しました。

先週は原油需給の引き締め観測を受けて原油価格が堅調に推移し、カナダ・ドル上昇の追い風になりました。また、28日(現地、以下同様)にはカナダ銀行(中央銀行)のポロズ総裁が講演を行い、現在のカナダ経済の状態は段階的な利上げを正当化するとの発言を受けてカナダ・ドルが上昇する場面もみられました。

経済指標では、4月のGDP(国内総生産)が発表されました。結果はおおむね市場予想通りとなりましたが、カナダ経済が引き続き順調であることが確認されました。

### 【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年6月1日～2018年6月29日)



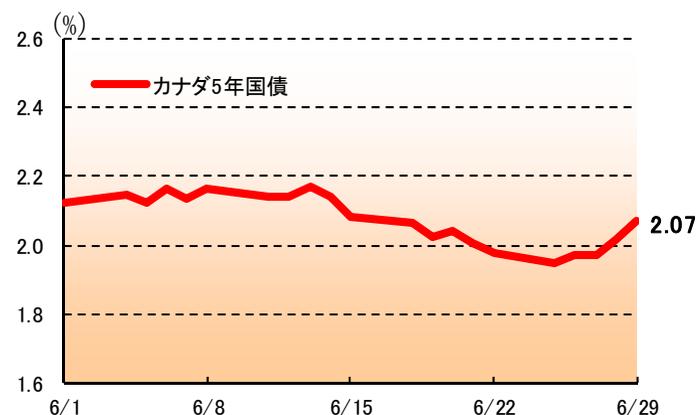
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

今週は、3日に6月のマークイットの製造業PMI(購買担当者指数)が発表されるほか、6日に同月の雇用統計が公表される予定です。カナダ銀行は11日に政策金利の発表を控えており、市場では政策金利の引き上げが予想されています。雇用統計が堅調な結果となれば、カナダ銀行による利上げを後押しする材料になるとみられます。

### 【カナダ 金利推移】 (2018年6月1日～2018年6月29日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>